

編集・発行
さいたま市明るい選挙推進協議会
協力
さいたま市選挙管理委員会
さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
Tel. 048-829-1773

明るい選挙

推進協議会たより



みらいくん
さいたま市選挙キャラクター

「選挙ばなれ社会」をこえて —明るい選挙推進活動の今後—



さいたま市明るい選挙推進協議会
会長 松本 正生

さいたま市明るい選挙推進協議会は、推進員・推進委員総数1,000余名を誇り、選挙時の啓発にとどまらず、各種の研修や選挙教育など、活発な常時啓発活動を展開しており、全国でも注目される存在です。

昨年暮れの総選挙に引き続き、平成27(2015)年は、4月の統一地方選の埼玉県議選・さいたま市議選、夏の埼玉県知事選と、大切なイベントが控えています。ただ、残念ながら、近年の選挙に関しては、国政、地方を問わず、低投票率傾向が定着した観があります。わけても、地域の身近な選挙では、若者だけでなく、これまで投票し続けてきた中高年の人たちの「選挙ばなれ」が目立っています。

われわれ明るい選挙推進協議会には、選挙の公正さへの配慮や投票への働きかけはもちろんのこと、地域社会における人と人とのつながりを維持し、社会の無縁化を押し止める役割も期待されています。



平成26年11月29日(土)に、平成26年度さいたま市明るい選挙啓発ポスターコンクールの入選者と、第10回さいたま市明るい選挙啓発標語コンクールの最優秀賞受賞者の表彰式を行いました。作品は、2ページ、3ページに掲載しています。

これらのコンクールには、さいたま市・区明るい選挙推進協議会の委員が選考に参加しました。

さいたま市明るい選挙推進協議会は、
明るい選挙を推進するための活動を行っています。

この活動の目的は？

- ①選挙違反のないきれいな選挙を行うこと
- ②有権者がこぞって投票に参加すること
- ③有権者が普段から政治と選挙に関心をもち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る目を養うこと

アイドルに 投票するなら 政治にも

平成26年度明るい選挙啓発ポスターコンクール

小学校、中学校、高等学校合わせて891作品の応募がありました。


各区における第1次選考を通過した114作品について、さいたま市明るい選挙推進協議会委員が審査を行い、次の17作品がさいたま市入選となりました。さらに県の審査で5作品が入選しました。

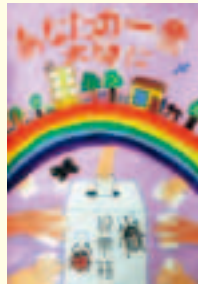
小学校の部



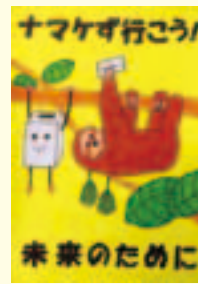
金澤 七海さん
(蓮沼小学校 2年)




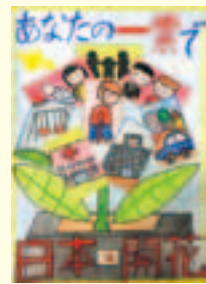
高橋 紗也さん 
(浦和大里小学校 3年)



松永 真里奈さん
(大宮南小学校 4年)



潮田 帆南さん 
(大戸小学校 5年)



上倉 悠佳さん
(日進小学校 6年)

潮田さんにインタビュー

Q


入選した感想と、ナマケモノを描いた理由を教えてください。

A

昨年に続いて入選できて、とてもうれしいです。できれば来年も入選できるよう、がんばりたいです。動物の絵だとかわいいし、やさしくなるし、いやされると思って描きました。

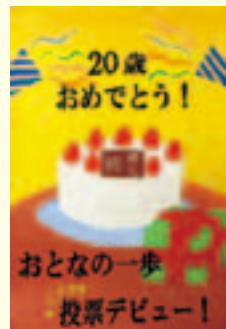
中学校の部




渡辺さくらさん 
(大原中学校 1年)




関根 茉倫さん
(宮原中学校 2年)



前野 早紀さん 
(宮原中学校 2年)




関根千那望さん 
(与野東中学校 2年)



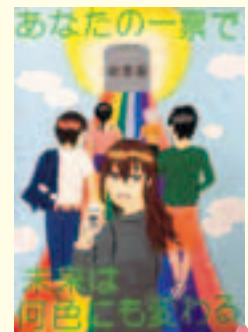
小林 葵さん
(大原中学校 2年)




大島 桃子さん 
(岸中学校 2年)



小西 優子さん
(土呂中学校 3年)



小形 真穂さん 
(宮原中学校 3年)

高等学校の部



新井 朱里さん
(浦和明の星女子高等学校2年)



岡本 七海さん
(浦和明の星女子高等学校2年)



藤島 司彩さん
(大宮工業高等学校3年)



砂渡 巨太さん
(大宮工業高等学校3年)

第10回明るい選挙啓発標語コンクール

小学校、中学校、高等学校、一般の部合わせて4,258作品の応募があり、さいたま市選挙管理委員、さいたま市明るい選挙推進協議会委員による選考の結果、次のとおり最優秀賞1作品、優秀賞21作品が決定しました。

最優秀賞作品	氏名	学校所在地	学校名・学年
アイドルに投票するなら政治にも	原田 流星さん	緑区	尾間木中学校3年

原田さんに
インタビュー

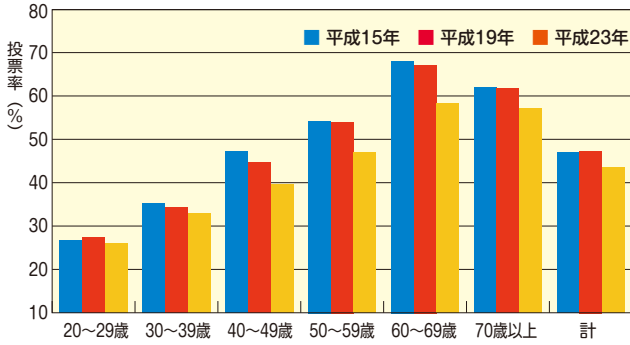
Q どのような思いでこの作品を考えましたか？

A 勉強中に、アイドルには票が集まるのに、なぜ政治家には票が集まらないのだろう？選挙に行く人が少ないのだろう？と、不思議に思っていたところで、この作品を考えました。

部門	優秀賞作品	氏名	学校所在地・住所	学校名・学年
小学校の部	一びょうが あしたをかえる 大きな力	田林 優斗さん	見沼区	大谷小学校2年
	投票は ぼくらと政治をつなぐ橋	原 亘佑さん	南区	谷田小学校4年
	朝・昼・夕 期日前にも 行けますよ	飯村 心愛さん	緑区	芝原小学校4年
	しっかりと 自分の意見を 伝えよう	北沢 優衣さん	南区	大谷場小学校5年
	まかせたよ ねがいをこめた この一票	酒井 志瞳さん	見沼区	大谷小学校5年
	行かないの 子供に言われて あせる父	笹峯 零矢さん	見沼区	大谷小学校6年
	その一票 大事な意見が つまってる	平野 征哉さん	南区	西浦和小学校6年
	大切な 未来のために その一票	佐藤 寛都さん	南区	西浦和小学校6年
中学校の部	その一票 動かす力は 無限大	角田 晴彦さん	浦和区	浦和中学校1年
	一票に 希望と期待と 夢こめて	芝 涼香さん	見沼区	大宮八幡中学校2年
	二十歳だよ 全員集合 選挙にGO!	鈴木 隼平さん	浦和区	浦和中学校2年
	意志表示 そこからはじまる 民主主義	後藤 花佳さん	南区	岸中学校2年
	届けよう 自分の声を 投票で	中野 美月さん	見沼区	大宮八幡中学校3年
	その票で 決めるいい国 いい未来	小川 泰治さん	見沼区	大宮八幡中学校3年
	「忙しい」 言い訳するなら 期日前	山田 千聖さん	浦和区	浦和中学校3年
	その一票 小さく見えて 大きな力	武田 大輔さん	南区	岸中学校3年
	誰かじゃない あなたが入れる その一票	原田 幸菜さん	緑区	三室中学校3年
高校の部	選ぼうよ みんなの未来を 託す人	大村悠太郎さん	西区	大宮南高等学校1年
	その一票 未来を変える かぎになる	小谷 莉穂さん	西区	大宮南高等学校1年
	示そうよ 私の思い 投票で	星野 楓華さん	西区	大宮南高等学校1年
一般の部	先ず投票 政治参加の 自覚もち	橋本 真実さん	見沼区	-

さいたま市議会議員一般選挙の年代別投票率

さいたま市議会議員一般選挙の年代別投票率



左のグラフと下の表は、これまでのさいたま市議会議員一般選挙の投票率を示しています。

投票率が低下の傾向にあることがわかります。

平成27年は、さいたま市議会議員一般選挙と埼玉県議会議員一般選挙、埼玉県知事選挙が予定されています。投票日当日に投票に行けない方も、期日前投票を利用して投票しましょう！

	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	計
平成15年	26.60	35.25	47.34	54.45	68.46	62.24	47.15
平成19年	27.40	34.40	44.75	54.20	67.39	61.93	47.44
平成23年	25.80	32.92	39.69	47.16	58.48	57.39	43.60

寄附禁止のルールを守って、明るい選挙を実現しましょう！

- 政治家は有権者に寄附を贈らない！
- 有権者は政治家に寄附を求めない！
- 政治家から有権者への寄附は受け取らない！



政治家や政治家の後援団体が、選挙区内の人や団体に対して寄附をすることは、罰則をもって禁止されています（政党に対するものなどは除く）。

また、有権者が、政治家に対して寄附を求めることも禁止されています。

研究集会を行いました！

平成26年11月29日（土曜日）13時30分から
浦和コミュニティセンター第15集会室にて



さいたま市・各区の明るい選挙推進協議会の会員約50名が集まり、研究集会を行いました。

今回のテーマは「投票率の向上について～身近な啓発活動を話し合おう～」としました。平成27年に予定されている選挙を見据え、白熱したグループ討議が繰り広げられました。

市川市明推協からの視察がありました！

平成26年11月12日（水曜日）13時30分から
さいたま市役所議会議棟第4委員会室にて



市川市明るい選挙推進協議会の方が研修視察のため来訪されました。さいたま市明推協からは、古賀副会長、江橋副会長、平野委員、新井委員が対応しました。

2時間程度の短い時間ではありましたが、啓発活動について活発な意見交換を行い、また、課題の共有をすることができました。

◆さいたま市明るい選挙推進協議会広報委員
◎…委員長 ○…副委員長

◎新井 俊雄 ○杉崎 肇 ・古賀 宏子 ・新谷 健生
・馬場 洋三 ・生越 康治 ・山城 一馬